

第 15 章 母子世帯・父子世帯

1 母子世帯・父子世帯

母子世帯、父子世帯ともに減少

一般世帯（1,635,805 世帯）のうち母子世帯は 17,600 世帯で、世帯人員は 44,476 人となっており、前回比 801 世帯（4.4%）、3,221 人（6.8%）の減少となっています。

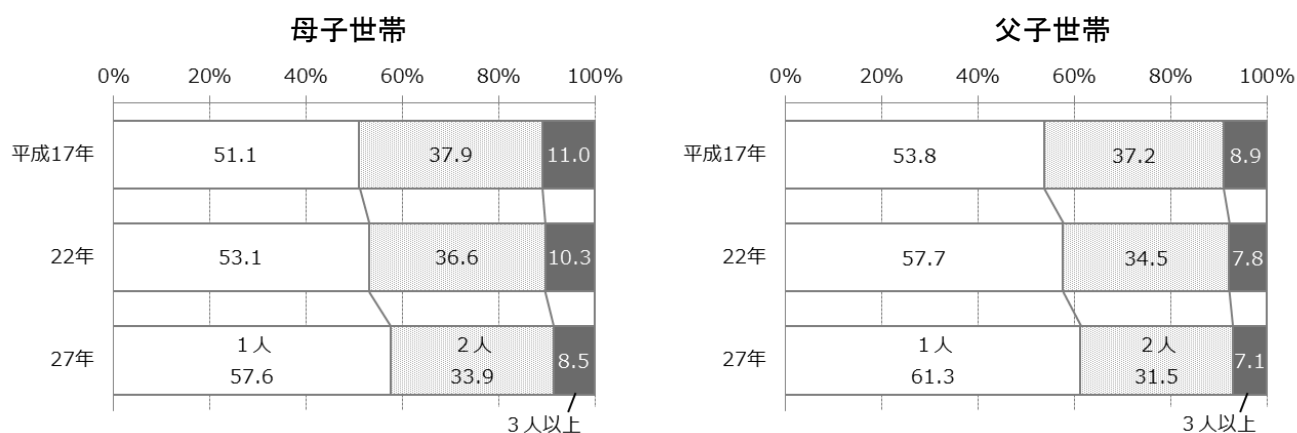
母子世帯の子供の数別割合をみると、子供が 1 人の世帯が 57.6%、子供が 2 人の世帯が 33.9%となっており、前回調査と比べると、子供が 1 人の世帯の割合が 4.5 ポイント上昇、子供が 2 人の世帯が 2.7 ポイント低下しています。

一方、父子世帯は 2,124 世帯で、世帯人員は 5,242 人となっており、前回比 618 世帯（22.5%）、1,649 人（23.9%）の減少となっています。

父子世帯の子供の数別割合をみると、子供が 1 人の世帯が 61.3%、子供が 2 人の世帯が 31.5%となっており、前回調査と比べると、子供が 1 人の世帯の割合が 3.6 ポイント上昇、子供が 2 人の世帯が 3.0 ポイント低下しています。

【表 15-1、図 15-1】

図 15-1 母子世帯、父子世帯に占める子供の数別割合（平成 17 年、22 年、27 年）



母子世帯の 69.5%、父子世帯の 55.6%に中学生以下の子供あり

母子世帯の最年少の子供の年齢別割合をみると、小学生の年齢に当たる 6～11 歳がいる世帯が 31.8%と最も高く、次いで中学生の年齢に当たる 12～14 歳がいる世帯が 21.0%となっており、未就学児がいる世帯（16.7%）を合わせた 69.5%の世帯に中学生以下の子供がいます。

父子世帯の最年少の子供の年齢別割合をみると、高校生の年齢に当たる 15～17 歳がいる世帯が 27.2%と最も高く、次いで小学生の年齢に当たる 6～11 歳がいる世帯が 24.8%、中学生の年齢に当たる 12～14 歳がいる世帯が 23.3%となっており、中学生以下の子供がいる世帯は 55.6%となっています。

【表 15-1、図 15-2】

図 15-2 母子世帯、父子世帯に占める最年少の子供の年齢別割合（平成 27 年）

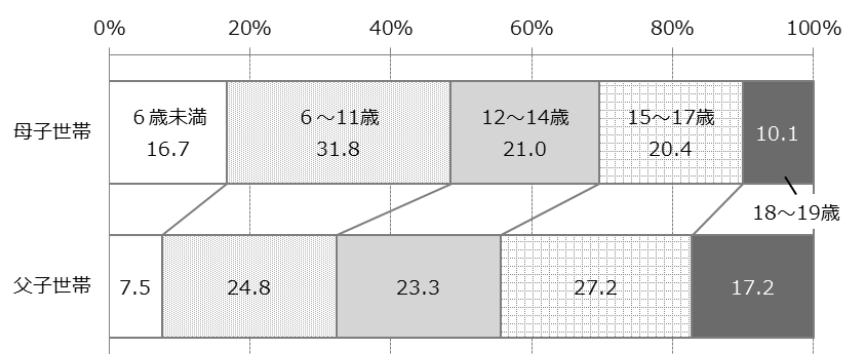


表 15-1 母子世帯数、父子世帯数及び世帯人員（平成 17 年、22 年、27 年）

区分	実数			割合（％）			対前回増減率（％）	
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17 ～22年	平成22 ～27年
母子世帯								
世帯数	16,391	18,401	17,600	100.0	100.0	100.0	12.3	△4.4
（子供の数）								
1人	8,378	9,769	10,138	51.1	53.1	57.6	16.6	3.8
2人	6,209	6,741	5,960	37.9	36.6	33.9	8.6	△11.6
3人以上	1,804	1,891	1,502	11.0	10.3	8.5	4.8	△20.6
（最年少の子供の年齢）								
6歳未満	3,439	3,302	2,942	21.0	17.9	16.7	△4.0	△10.9
6～11歳	6,106	6,528	5,598	37.3	35.5	31.8	6.9	△14.2
12～14歳	3,106	3,785	3,700	18.9	20.6	21.0	21.9	△2.2
15～17歳	2,562	3,218	3,590	15.6	17.5	20.4	25.6	11.6
18～19歳	1,178	1,568	1,770	7.2	8.5	10.1	33.1	12.9
世帯人員	42,928	47,697	44,476	-	-	-	11.1	△6.8
1世帯当たり子供の数	1.62	1.59	1.53	-	-	-	-	-
父子世帯								
世帯数	2,360	2,742	2,124	100.0	100.0	100.0	16.2	△22.5
（子供の数）								
1人	1,270	1,581	1,303	53.8	57.7	61.3	24.5	△17.6
2人	879	946	670	37.2	34.5	31.5	7.6	△29.2
3人以上	211	215	151	8.9	7.8	7.1	1.9	△29.8
（最年少の子供の年齢）								
6歳未満	222	342	160	9.4	12.5	7.5	54.1	△53.2
6～11歳	760	782	526	32.2	28.5	24.8	2.9	△32.7
12～14歳	523	618	495	22.2	22.5	23.3	18.2	△19.9
15～17歳	541	662	577	22.9	24.1	27.2	22.4	△12.8
18～19歳	314	338	366	13.3	12.3	17.2	7.6	8.3
世帯人員	6,044	6,891	5,242	-	-	-	14.0	△23.9
1世帯当たり子供の数	1.56	1.51	1.47	-	-	-	-	-

2 母子世帯の労働力状態

母子世帯の母親の労働力率は女性全体に比べて高い

母子世帯の母親（17,600人）の労働力状態をみると、労働力人口は13,825人（うち就業者13,129人）で、労働力率は89.0%となっており、女性全体の労働力率（49.3%）のおよそ1.8倍となっています。

また、年齢（5歳階級）別に労働力率をみると、40～44歳が90.9%と最も高く、次いで45～49歳（89.8%）、35～39歳（89.1%）となっています。

女性全体における年齢別労働力率の特徴である「M字カーブ」の底となる35～39歳の年齢階級で比べると、母子世帯の母親の労働力率が22.9ポイント高くなっています。

【表15-2、図15-3】

図15-3 母子世帯の母及び女性全体の年齢（5歳階級）別労働力率（平成27年）

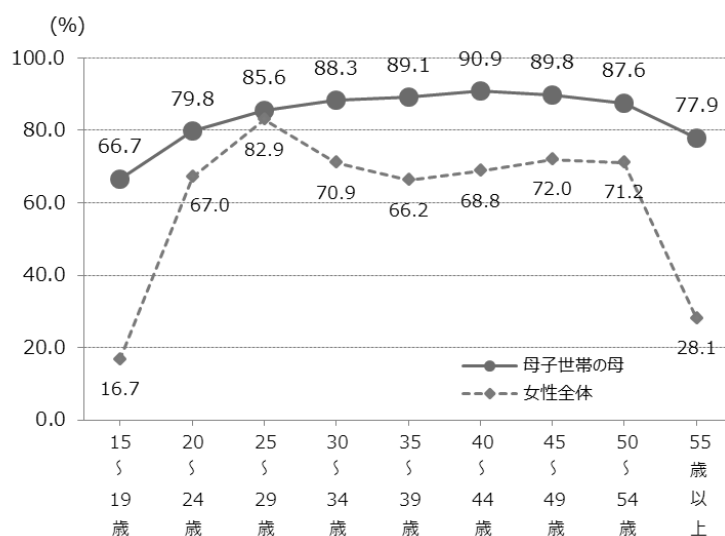


表15-2 母子世帯の母及び女性全体の年齢（5歳階級）、労働力状態別人口及び労働力率

（平成27年）

労働力状態	総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上
母子世帯の母										
総数 ¹⁾	17,600	8	254	879	1,930	3,325	5,219	4,002	1,553	430
労働力人口	13,825	4	146	600	1,426	2,583	4,228	3,282	1,249	307
うち就業者	13,129	4	130	554	1,335	2,460	4,033	3,125	1,192	296
非労働力人口	1,704	2	37	101	189	315	423	373	177	87
労働力率 (%)	89.0	66.7	79.8	85.6	88.3	89.1	90.9	89.8	87.6	77.9
女性全体										
労働力率 (%)	49.3	16.7	67.0	82.9	70.9	66.2	68.8	72.0	71.2	28.1

1) 実数は労働力状態「不詳」を含む。